

まちづくりの目標 2

健康で、いきいきと暮らし、支えあうまちづくり（健康・福祉）

次に、まちづくりの目標 2「健康でいきいきと暮らし、支えあうまちづくり」について申し上げます。

まず、**健康づくりと医療体制の充実**につきましては、令和6年度に策定した「第3次元気プラン新居浜21」に基づき、各種団体や学校、地域等と協働し、市民一人ひとりの健康意識の向上や生涯を通じた継続的な健康づくりに取り組むほか、一次救急の要である休日夜間急患センターの運営を継続し、緊急時の医療体制の確保を図ってまいります。

また、「健康づくり推進本部」を中心に、平均寿命を超える健康寿命の延伸に向けた効果的な施策を推進いたします。特に、保健福祉Ma a S車両を活用した健康相談等の実施やオンライン診療の検討、KENPOSアプリを活用したウォーキング・健康づくりを推進してまいります。

次に、**地域福祉の充実**につきましては、新居浜市社会福祉協議会や民生児童委員と連携し、地域を担っていただける人材を育成してまいります。また、高齢者や障がい者などの災害弱者、避難行動要支援者の迅速で円滑な避難のため、支援体制の構築を図り、自助意識の啓発と地域の共助による安心安全な地域づくりを進めてまいります。

次に、**障がい者福祉の充実**につきましては、「ノーマライゼーション」理念の普及啓発と障がいへの理解促進を図り、地域共生社会の構築を推進してまいります。また、障がい児通所支援の充実、障がい児を育てる家庭へのサポートなど、障がい児支援体制の整備拡充と適切な運営を図ってまいります。

次に、**高齢者福祉の充実**につきましては、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、「地域包括ケアシステム」の構築に取り組み、在宅支援体制の充実を図ってまいります。また、国保データベースシステムを活用した課題分析や事業企画とともに、関係機関と連携した保健事業と介護予防の一体的な実施によるフレイル予防と健康寿命の延伸に取り組みます。さらに、認知症サポーター養成事業等の啓発により、認知症高齢者見守りSOSネットワーク活動の充実を図り、高齢者等の生命・身体の安全確保と家族等への支援を進めてまいります。また、新たに、在宅で生活する65歳以上の難聴高齢者を対象に補聴器購入費補助事業を開始し、高齢者の生活支援及び社会参加の促進に取り組んでまいります。

次に、**社会保障の充実**につきましては、生活保護制度と生活困窮者自立支援制度の連携強化に取り組むとともに、介護保険制度を円滑に運営するため、介護給付の適正化を推進してまいります。

さらに、国民健康保険事業につきましては、持続的で安定した運営に向け、適正な保険料率への見直し、保険料の収納率向上対策を図るなど、国保財政の健全化に努めるとともに、特定健康診査・特定保健指導の充実、ジェネリック医薬品の使用促進など、医療費の適正化にも積極的に取り組んでまいります。